

2025. 2. 20

報道関係者 各位

&lt;配信枚数3枚&gt;

## ■シンポジウムのご案内■

## 『尊重しあう個が集う社会づくりのために、実践的に学んでみませんか』

日時：2025年2月27日（木）14：00～17：10（開場13：00）

会場：立命館大学 大阪いばらきキャンパス（大阪府茨木市）

立命館大学スポーツ健康科学部の清家理教授が研究代表者を務める、内閣府・戦略的イノベーションプログラム第3期（以下、「SIP」）のプロジェクト※1において、2025年2月27日（木）に、本大学大阪いばらきキャンパスにて、シンポジウム『尊重しあう個が集う社会づくりのために、実践的に学んでみませんか』を開催いたします。

※1（課題3）包摂的コミュニティプラットフォームの構築、(A-2)多様性に寛容な社会の実現に向けた共創システムの開発プロジェクト-「違いがあっても大丈夫」と共育しあえるコミュニティの構築-

清家教授の研究グループは国内外の最新データをもとに、LGBTQの理解促進に向けた現状と課題を整理し、エビデンスベースの政策・施策立案を可能とするデータベースを構築に取り組んでいます。プロジェクトでは、違いを理解しあう「コミュニケーションデザイン」、例えば、企業や行政におけるダイバーシティ推進のための戦略を提示したり、LGBTQへの理解を深める実践的なワークショップを提供したりしています。「LGBTQをめぐる理解促進とコミュニケーションデザイン」に焦点を当て、参加者が主体的に楽しみながら参画し、多様性を尊重する環境の形成づくりの手法の確立を目指しています。

本シンポジウムでは、「LGBTQをめぐる理解促進とコミュニケーションデザイン」に焦点を当て、参加者が主体的に楽しみながら参画し、多様性を尊重する環境の形成づくりの手法の確立を目指すプロジェクトの取り組みをご紹介します。

## 記

日時：2025年2月27日（木）14:00～17:10  
会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス（大阪府茨木市岩倉町2-150）  
いばらきフューチャープラザ 3階コロキウム  
対象：企業の人事担当者、管理職、ダイバーシティに関心のある方（定員200名）  
費用：無料  
参加申込：以下URLより参加申込

<https://www.sip3-housetsu-a2.com/2025symposium-form>

共催：立命館大学、京都大学、順天堂大学、株式会社 SciEmo

プログラム：

- ・なぜ今コミュニケーションデザインなのか
- ・尊重しあう個が集う社会づくりのための介入戦略
- ・Work1:LGBTQについて学んでみよう
- ・Work2: アイスブレイクタイム：交流促進 Time
- ・Work3: 『件の宣言』プログラム
- ・Work4: ワーク総括（登壇者とのパネルディスカッション）

（詳細プログラムは別紙をご参照ください）



以上

本リリースの配布先：草津市政記者クラブ

## ●取材・内容についてのお問合せ先

立命館大学広報課 担当：勝屋、岡本 TEL075-813-8300 r-koho@st.ritsume.ac.jp

※取材のご希望がある場合、2月26日（水）まで広報課担当者までご連絡ください。

A-2 多様性に寛容な社会の実現に向けた共創システムの開発プロジェクト  
- 「違いがあっても大丈夫」と共育しあえるコミュニティの構築 -

# 2024 年度 シンポジウム

## A-2

2025年2月27日(木)

開場 13:00 / 開始 14:00 - 終了 17:10

立命館大学大阪いばらきキャンパス  
立命館いばらきフューチャープラザ 3階コロキウム

定員：200名

対象：企業や行政等で人事、管理業務に従事されている方、ダイバーシティに興味関心がある方

尊重しあう個が集う社会創りのために  
実践的に学んでみませんか？

DE&Iの推進が求められる今、多様な人々の考えや指向を理解し合う難しさを感じておられる方は多いのではないのでしょうか。我々の研究チーム A-2 では、この難しさを解消するためのヒントは、「コミュニケーションのデザイン」にあると考えています。本シンポジウムでは、我々が特に注力してきた『性の多様性と理解』をテーマに、LGBTQ に関する調査結果を共有し、実践的なワークショップを通じ、考え方の違いを理解し合うためのコミュニケーションデザインを学び合う場を提供いたします。

プログラム内容は、次ページ

### 【会場】

申込みはコチラ



問い合わせ先

立命館大学スポーツ健康科学部 清家研究室秘書  
新井・水口 (月一金 9:00-16:00)  
【TEL】 077-561-4858  
【E-mail】 24v01831@gst.ritsumei.ac.jp  
24v01832@gst.ritsumei.ac.jp

立命館大学大阪いばらきキャンパス  
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150

JRでお越しの方は  
 京都駅 12分 高槻駅 5分 茨木駅 徒歩約5分  
 大阪駅 14分  
 三ノ宮駅 41分

阪急電鉄でお越しの方は  
 京都河原町駅 25分 茨木市駅 2分 南茨木駅 徒歩約10分  
 大阪梅田駅 18分  
 西宮北口駅 9分 十三駅 14分

大阪モノレールでお越しの方は  
 門真市駅 13分 南茨木駅 徒歩約10分  
 大阪空港駅 21分 宇野辺駅 徒歩約10分

※所要時間に乗り換え時間は含まれません。

## 【プログラム内容】

14:00-14:05	開会挨拶	A-2多様性寛容プロジェクト サブリーダー 京都大学経営管理大学院 特定准教授 蓮行
14:05-14:15	SIPとは	SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」サブプログラムディレクター BACeLL法律会計事務所 代表弁護士・公認会計士 石田恵美
14:15-14:30	A-2多様性寛容プロジェクト紹介 - データから見るLGBTQを めぐる現状・集団心理のミニ体験 -	A-2研究開発責任者 立命館大学スポーツ健康科学部 教授 清家 理
14:30-14:45	なぜ今コミュニケーションデザインなのか	京都大学経営管理大学院 特定准教授 蓮行
14:45-14:55	休憩・介入前アンケート調査 ※注 (ご協力いただける方のみ)	
14:55-15:05	Work導入:尊重し合う「個」が集う 社会づくりのための介入戦略	京都大学経営管理大学院 特定准教授 蓮行
15:05-15:20	Work1:LGBTQについて学んでみよう	立命館大学総合科学技術研究機構 准教授 森永貴彦
15:20-15:45	Work2:アイスブレイクタイム	京都大学経営管理大学院 特定准教授 蓮行 同 特定助教 末長英里子 同 教務補佐員 大山溪花 同 教務補佐員 柴田惇朗
15:45-16:45	Work3:『件(くだん)の宣言』プログラム	
16:45-16:55	Work4:Work総括 (登壇者によるパネルディスカッション)	モデレーター:蓮行 パネリスト: 石田恵美・森永貴彦・清家 理・参加者
16:55-17:00	閉会挨拶	A-2研究開発責任者 立命館大学スポーツ健康科学部 教授 清家 理
17:00-17:10	終了後アンケート調査 ※注 (ご協力いただける方のみ)	

注:Work1 から Work4 は、SIP 開発研究の一環で実施します。  
そのため、研究内容および研究参加に同意いただいた方には、  
アンケート調査（プログラム参加前後の気分や考えの変化等のお伺い）へ  
のご協力をお願いいたします。



会場の建物1階には、食事処が  
ございます。  
適宜ご利用ください。